

猛暑と五輪の熱戦もあって例年に増して暑い夏となりました。一方で、ここところ大雨が続き寒い日もあり、農作物も少し心配ですね。

新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大しており、8月20日から9月12日まで甲州市を含む18市町村が「まん延防止等重点措置対象区域」に指定されました。ワクチン接種も進んでいますが、今まで以上に感染予防の徹底をお願いします。

みんなの畑 里芋の土寄せ

7月11日（日）、収穫体験会終了後、みんなの畑にて上条を活性化する会により里芋の草取りと追肥を行いました。また、7月25日（日）には草取りと土寄せを行いました。両日ともに真夏日でとても暑く、こまめに休憩しながらの作業となりました。里芋の株周りの雑草を取ってから追肥をし、鍬で畝を高くして土寄せをしました。その後、今年はマルチを敷きました。これで追肥や草取りの手間が省けますね。



かつぬま朝市出店！

8月1日（日）、上条を活性化する会でかつぬま朝市に出店しました。上条農園で収穫したじゃがいもや上条で採れた野菜や果物を店頭に並べました。観光シーズンに入り、この日は朝から多くのお客さんが来店してくださり、大好評でした！



お家で学ぼう！上条集落 vol.1

今月号から「お家で学ぼう！上条集落」として上条集落はもちろん！地域に関わる歴史や文化などわかりやすく解説していきます！vol.1は、茅葺切妻造主屋の特徴についてお話しします。

茅葺切妻造主屋は、山梨県の甲府盆地東部に広く分布し、「甲州民家」とも呼ばれています。甲州市でもまだ相当数が残されていますが、上条集落のように一つの集落内でまとまって保存されている例は稀です。茅葺切妻造主屋の中で国の重要文化財として指定されているものは、皆さまよくご存知の「旧高野家住宅（甘草屋敷）」です。

茅葺切妻造主屋は、真ん中の「突き上げ屋根」が大きな特徴です。（※突き上げ屋根は、「煙出（けむりだ）し」や「明かり取り」とも呼ばれています。）

この「突き上げ屋根」は、江戸時代までは甘草屋敷の高野家のような名主・長百姓の農家しか付けることができませんでした。（※長百姓とは村の有力な農家のこと。）

身分制度が無くなる明治時代になると、養蚕の振興に伴い、次々に付加され、普及されていきました。養蚕に代わって果樹栽培が盛んになった現在でも、市内各地に見られます。

上条集落は、比較的コンパクトな集落内に伝統的な主屋や蚕室が数多く残され、往時の風景が想像できるとても貴重な集落です。



■旧高野家住宅（甘草屋敷）



■春にはスモモの花に埋もれるように茅葺切妻造主屋が見えます